



# かけはし

岩国市立錦中学校だより 第5号

令和4年(2022年) 6月22日(水)

<https://www.edu.city.iwakuni.yamaguchi.jp/site/nishiki-j/>



## 日本の伝統芸能を学ぶ！

校長 田山 満則

6月9日(木)の午後、本校体育館で芸術鑑賞会が開催され、中学校区内の小中高校の児童生徒90名、地域の方70名が「狂言」を楽しく鑑賞しました。

狂言は、2001年ユネスコによる初めての世界無形文化遺産に指定されていて、室町時代から600年以上受け継がれている日本最初の「喜劇」です。当日は、重要無形文化財総合指定保持者で和泉流狂言師の高澤様を中心に演じていただきました。

鑑賞する前には、分かりやすく解説をしてくださいました。例えば、犬の鳴き声といえば「ワンワン」ですが、室町時代は「ビョービョー」と認識されているようで、台詞や擬音など、当時のまま変えることなく演じておられました。

演者の動きや台詞などを聞いたときに、観客席から笑い声が何度も上がり、室町時代の人々も現代の私たちも、「笑いのツボは、一緒だ」と600年前の庶民の生活に思いを馳せました。



国際社会が進む中、私たち日本人は、自国の歴史や文化の知識や考えをもって、諸外国のことを理解する力が求められます。この度は、日本独自の伝統芸能について学ぶことができた貴重な時間となりました。

## 参観授業・進路説明会を開催

6月15日(水)は、参観日でした。また、岩国市内の5つの高校の校長先生等をお招きして、3年生を対象に進路説明会を行いました。

先日、広瀬分校の生徒募集停止の通知もあり、生徒は、例年以上に真剣なまなざしで各高校の説明を聞き、進路選択の可能性を広げていました。



# 議論白熱！生徒総会

6月21日(火)、全校生徒が一堂に会して、定例の生徒総会を開催しました。

各専門委員会の昨年度活動報告や本年度の活動計画、予算案を審議した後、中心議題である「小中合同運動会・体育祭」について議論しました。

生徒は、これまで経験したことのない合同開催の内容や方法について、学級討議を重ね、意見をまとめて総会を迎えました。

当日、予想以上の時間を費やしましたが、学年に関わらず自分の意見を堂々と発表し、集中力を切らすことなく、真剣に、粘り強く議論を重ね、5つの協議事項の方向性について決議しました。

私は、校長講評のあいさつで、「価値観が多様化する中、自分の意見をしっかり発言できたことはすばらしい。」と評した後、「誰もが全力で活動でき、楽しめる運動会・体育祭」という目標を見失うことなく、「どうしたら意見の一致ができるか(合意形成できるか)の力を少しずつ身に付けていきましょう。」と全校生徒に伝えました。

今後は、実行委員会を組織して、錦清流小学校と連携し、合同開催が思い出に残る行事となるよう議論を重ね、一步一步進んでいきます。



## 地域の皆様 いつも、ありがとうございます！

本校は、多くの地域の皆様に支えていただいております。

草刈りなどの環境整備、地域行事の参画・連携など様々です。特に今年度は季節の色とりどりの花をいただく機会が多く、校内が華やかとなり、生徒・教職員ともに癒やされております。

下の写真は、いただいた生花のいくつかですが、素敵なお花ばかりです。ありがとうございます。

